

「心の問題」と直感論
目次

第一部 直感に目覚める―新しい人間像を求めて―……………9

第一章 直感とは心のこと……………10

第一節 純粹な直感 10

第二節 普通の直感 14

第二章 心は生きている、心には働きがある……………17

第一節 知る直感 18

第二節 表現する（話す、書く）直感 23

第三節 行動する直感 28

第三章 心は複雑である、いろいろなものが組み合わさっている……………33

第一節 自己と共にある直感 33

第二節 根としての直感 38

第三節 超えている直感 43

第四章 心は発達する……………48

第一節 乳幼児の直感 48

第二節 学童の直感 52

第三節 青年の直感 55

第四節 成人の直感 60

第五節 老人の直感 65

第五章 人類の心の進歩と退歩……………70

第一節 動物にも直感はある 70

第二節 原始人の直感が人類の直感の始まり 76

第三節 日本人の直感の始まり 79

第四節 日本人の直感の歴史 83

第五節 西欧人の直感と本論の直感 92

第六章 文明は心と共にある……………96

第一節 社会と直感 96

第二節 芸術と直感 99

第三節 科学と直感 105

第四節 文明の諸領域と直感 110

第二部 直感の源流——現象学と現存在分析——	113
第一章 現象学誕生とその背景	114
第二章 フッサールと「事象」	118
第三章 ハイデッガーと「根源」	135
あとがき	155